

中村 仁 (緑水会)

市民の生命・安心・財産を守る排水ポンプ車
台風19号の際、中部地方整備局から借りたポンプ車が市民のために活躍した。不安な豪雨災害に備え、三島市で購入できないか。

浸水被害を防ぐためには、迅速な排水活動を行う必要がある。排水ポンプ車による排水作業は、非常に有効な浸水対策手段であることから、市民の生命・財産を守るため、令和2年度の当初予算において排水ポンプ車の購入に向け、検討していく。



小山三軒家線中心に都市計画道路の再検証

昭和36年から計画され未着工の小山三軒家線の整備は、100億円以上必要とのことである。計画の再検証が必要ではないか。

三島市を含む6市4町の東駿河湾広域都市圏でまとめられたパースントリップ調査の結果を踏まえ、総合計画や都市計画マスタープランなどの来年度の見直しに合わせて、第2回目の都市計画道路の必要性再検証を実施するべく、準備をしている。

岡田 美喜子 (新未来21)

持続可能な自治体経営のための人材確保

観光振興やITなどの施策を目的に、専門的な人材を兼業や副業で採用し、行政課題の解決や職員の意識改革につなげてはどうか。

すでに、IT関連やSDGsなどの研修会を民間団体の協力を得ながら、知識の習得等を目的に実施している。専門的な人材の採用は、雇用条件等を含め活用すべきフィールドや明確な目的などを整備し、他市町から効果等の情報を交換しながら慎重に検討していきたい。

通学区域の変更

来年度、錦田中学校と北中学校の通学区域が変更されるが、どのような場合に通学区域が変更されるのか伺う。

学区変更は「①学校適正規模に十分留意、②地区住民9割以上の賛同署名添付、③周辺自治会に説明確認をした」これらを満たした上で、学校は地域コミュニティの核である」との方針に照らしつつもなお、変更がふさわしいかを通学区域審議会でご審議いただく。



宮下 知朗 (新未来21)

避難所停電対策として可搬型蓄電池の整備を

屋内使用や暴風雨時などに使用が制限される、可搬型エンジン式発電機の代替として、可搬型蓄電池の整備を進めてはどうか。

可搬型エンジン式発電機は、屋内で使用できない上、暴風雨時には屋外で使用することは難しい。避難者の方が携帯電話やスマートフォンの充電等に使用できるよう、令和2年度以降、可搬型蓄電池の整備に要する費用の予算計上を検討していく。

避難所運営ゲーム(HUG)の積極的な活用を

避難所の運営に対する理解と共助の精神を醸成するため、小中学校における防災教育などで避難所運営ゲームを活用してはどうか。

すでに北上中学校と中郷西中学校では実施しており、引き続きPTAや地域の皆さま等と連携し、避難所運営ゲームをはじめとした防災出前講座をさらに積極的に活用する等、防災教育の一層の充実が図られるよう、各学校に指導していく。



他の質問事項
保育需要に応えることのできるまじゅくりを

石井 真人 (新政会)

医療保健福祉の一体的拠点を整備できないか

東街区に健康医療拠点を作らず、メディカルセンターを移設し、保健センターと社会福祉会館も施設内に移動させて一体化してはどうか。

健康と福祉の公共施設を一元化する拠点施設については、関係するそれぞれの団体の意向を伺ってみるとともに、他市町の事例等の調査や、それぞれの施設機能の有効性、立地条件、財政的問題等を勘案し可能性について今後研究していく。



職員退職基金1億7千万円を取り崩した理由

前市政において、8年間で積み立てた1億7千万円の基金を、豊岡市政の9年間で205万円まで取り崩した理由を伺う。

基金は、多くの団塊の世代が退職し多額の退職金が必要となる際の支出を平準化するために積み立てたものであり、その目的に沿って平成18年度から29年度にかけて取り崩したものである。今後の退職金については、当該年度の予算で支出することが可能である。

他の質問事項

東街区の医療機能について医師会との調整は

藤江 康儀 (改革みしま)

歳入・雇用拡大が期待される企業誘致

現在の補助金では、企業に対してインセンティブを与えない。三ツ谷工業団地最後の第4区画へ誘致するため、今後の課題を伺う。

大規模用地を購入する場合、現在の補助限度額では、用地取得費に対する相対的な補助率が低くなり、かつ市民の新規雇用の後押しとならない。三島市の企業誘致の優位性を確保するために、税収が期待できる要件に基づく、上乗せ等の制度改正を検討する。



本市の防災・減災の取り組み

水害など有事の際、市・警察・消防団の情報共有および指示・指導・命令等が慎重かつ正確である必要があるが、見解を伺う。

台風19号に係る課題を踏まえ、改めて消防団と市・警察当局が情報を共有し、水害時の河川監視や道路冠水の際の通行止め等に関する役割分担を明確にするともに、団員の身の安全を最優先にして活動にあたるよう、団長から指示・指導を行っている。

他の質問事項
清掃センター施設整備等について

河野 月江 (日本共産党議員団)

危険木から住民の安全を守る施策の充実を

台風等による倒木の危険を除去するため、他市町に倣い、町内会等による危険木除去を支援する制度が必要と考えるが、見解を伺う。

樹木の管理責任は所有者にあるが、樹木除去の費用負担が困難で危険な状態のまま放置されている樹木の存在も事実である。危険木除去の支援制度については、市の補助金ガイドラインに基づき、公益性・公平性等を含め他市町の事例等を参考に調査・研究していく。



市民が望む三島市の将来像と第4次総合計画

スマートウエルネスみしまの健康づくり事業について、検証がどうなされ、再計画づくりに市民がどう関わっているのか伺う。

外出する機会の創出や、自然と歩く仕組みに力を入れ、各期に掲げているコアプロジェクトを検証し、新たな発想も取り入れながら検討を行った。市民の皆さまの直接の参画はなかったが、民間団体の委員を含む健康づくり推進協議会にてご意見をいただいた。

他の質問事項

公立小中学校給食での除去食対応の実施を